

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003043	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 雅史, 佐々木 龍, 福島 真典		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	原口 雅史		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	原口 雅史, 佐々木 龍, 福島 真典		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mharaguchi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。） r.sasaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。） ma-fukushima▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院 消化器内科		
担当教員TEL/Tel	0958197481		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントメントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 多職種協働 □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：発表テーマに必要な情報について、インターネットや文献などを調べる。(1時間) 事後学習：グループワークの内容を振り返り、追加で必要な情報について調べる。(1時間)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア、医療AI、未来科学、プログラミング、ロボット
教科書・教材・参考書/Materials	テーマによるため、インターネット等を通じて情報収集を行う。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面授業で実施します。変更する場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	原口雅史、佐々木龍、福島真典/ 消化器内科学
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月7日 16:30	【対面】オリエンテーション・アイスブレイク・発表の基本・テーマ決め(担当: 原口雅史)
第2回 / 4月14日 16:30	【対面】テーマ決め・小テーマ決め・情報収集戦略・著作権(担当: 原口雅史)
第3回 / 4月21日 16:30	【対面】図書館資料収集ガイダンス
第4回 / 4月28日 16:30	【対面】テーマ決め・小テーマ決め・情報収集戦略・生成AIの社会での活用・社会におけるデータ・AI等の活用事例(担当: 原口雅史)
第5回 / 5月12日 16:30	【オンデマンド】自習
第6回 / 5月19日 16:30	【対面】発表テーマに関する情報収集(担当: 原口雅史)
第7回 / 5月26日 16:30	【対面】発表テーマに関する情報収集(担当: 福島真典)
第8回 / 6月2日 16:30	【対面】中間まとめ(担当: 原口雅史)
第9回 / 6月9日 16:30	【対面】発表スライド作成(担当: 原口雅史)
第10回 / 6月16日 16:30	【対面】発表スライド作成(担当: 福島真典)
第11回 / 6月23日 16:30	【対面】発表スライド作成(担当: 原口雅史)
第12回 / 6月30日 16:30	【対面】発表準備(担当: 福島真典)
第13回 / 7月7日 16:30	【対面】発表準備(担当: 原口雅史)
第14回 / 7月14日 16:30	【対面】振り返り(担当: 原口雅史)
第15回 / 7月28日	【対面】全体発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003044	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭, 高谷 亜由子		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	有馬 和彦 / Arima Kazuhiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭, 高谷 亜由子		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arima▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野（医学部基礎研究棟7階）		
担当教員TEL/Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は授業担当教員である有馬和彦が行います。成績評価の配点は、事前学習20%、グループワーク・グループディスカッション40%、ワークへの取り組み20%、プレゼンテーション20%とします。初年次セミナーの成績評価は、「合」・「否」の2段階評価とします。成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができます。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 決定したテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集する。(2h) 事後学修: それまでに集めた情報を整理し、足りない情報を収集する。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	特に決まった教科書や参考書はなく、テーマに沿って決定します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	医師としての実務、医学部教員としての系統講義や大学院教員としての科学研究指導、学識有識者（社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家、日本衛生学会認定衛生学エキスパート、日本疫学会認定上級疫学専門家）としての長崎県の健康会議や長崎市の健康委員会への参加経験、など実務経験を有す
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、他者紹介、授業ガイダンス、テーマ設定（対面）
第2回	テーマ設定: グループディスカッション（対面）
第3回	資料収集ガイダンス（対面） 月曜クラス：4/21
第4回	発表テーマの決定、進め方の検討: グループディスカッション（対面）
第5回	オンデマンド授業 （著作権・生成AIの概念と応用・社会におけるデータ、AI等の活用事例） 月曜クラス：5/12
第6回	オンデマンド授業から学んだこと: グループディスカッション 発表テーマに関する情報収集(1): グループワーク（対面）
第7回	発表テーマに関する情報収集(2): グループワーク（対面）
第8回	発表テーマに関する情報収集(3): グループワーク（対面）
第9回	情報整理、プレゼンテーションの基本、ディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションスライド準備(1)：作成（対面）
第11回	中間プレゼンテーションリハーサル（対面）
第12回	プレゼンテーションスライド準備(2)：修正（対面）
第13回	プレゼンテーションスライド準備(3)：完成（対面）

第14回	プレゼンテーション原稿の作成 最終プレゼンテーションリハーサル（対面）
第15回	全体発表会。（1班10分程度） 全クラス：7/28（月）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003045	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高園 貴弘 / Takazono Takahiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高園 貴弘 / Takazono Takahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高園 貴弘 / Takazono Takahiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院 呼吸器内科 高園貴弘、岩永直樹、武田和明、吉田将孝		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	調査、ディスカッションへの参加姿勢、発表準備などの総合評価
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事後として、学習や、調査が毎回1時間程度必要となります。
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	テーマに合わせて図書館・WEB等で情報を収集する。教科書は指定しない。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面）オリエンテーション、プレテスト、テーマ決定、著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用について
第2回	（対面）テーマ決定、調査内容を検討
第3回	（対面）調査内容を検討
第4回	（対面）調査
第5回	（対面）調査
第6回	（対面）調査
第7回	（対面）調査
第8回	（対面）調査
第9回	（対面）調査
第10回	（対面）解析
第11回	（対面）解析
第12回	（対面）解析
第13回	（対面）発表準備
第14回	（対面）発表準備、ポストテスト
第15回	（対面）合同発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003046	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大石 明生		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	大石 明生		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	大石 明生		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akio.oishi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	病院本館 1 0 階眼科教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17：30以降または随時メールで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1）大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2）科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3）学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4）医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5）ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6）医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	理解度確認小テスト 20 点、レポート課題 30 点、出席、発表および授業への取り組み 50 点 60 点以上を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各回で学習した内容を復習し、確実な理解につなげること（1h）。 班ごとのテーマについて、それぞれで調査し考えを深めること（1h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	書学者のための質的研究 26 の教え、宇宙怪人しまりす医療統計を学ぶ、著作権のツボとコツがゼッタイにわかる本
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	大石明生/大学病院での診療および研究経験/様々な情報の中から根拠のあるものとなないものを選別し、有用な情報を収集する技術、得られた情報から考えを発展させレポートやプレゼンテーションにまとめる技術、また医療者として必要な知識や態度を解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/7, 5限)	（対面）オリエンテーション、自己紹介、自律的な学びの仕組み
第2回（4/14, 5限）	（対面）課題発見、リサーチクエスト、テーマ選択の方法
第3回（4/21）	資料収集ガイダンス
第4回（4/28、5限）	（対面）ディスカッションの方法、テーマ確定、班分け
第5回（5/12）	（オンデマンド）著作権・生成AIの概念と応用・社会におけるデータ、AI等の活用事例
第6回（5/19, 5限）	（対面）文章の読み方
第7回（5/26, 5限）	（対面）研究に関する規制その他
第8回（6/2, 5限）	（対面）統計について
第9回（6/9, 5限）	（対面）中間発表
第10回（6/16, 5限）	（対面）情報リテラシーとモラル
第11回(6/23, 5限)	（対面）文章の書き方
第12回（6/30, 5限）	（対面）プレゼンテーションの方法
第13回（7/7, 5限）	（対面）レポート作成
第14回(7/14, 5限)	（対面）発表予行
第15回(7/28)	（対面）全体発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003047	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 英明, 長浦 由紀		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	近藤 英明		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	近藤 英明, 長浦 由紀		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	近藤英明：kondo_hideaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください） 長浦由紀：nagaura▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院本館12階総合診療科医局1207号 医局受付：1209号		
担当教員TEL/Tel	長崎大学病院総合診療科医局：095-819-7591		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問はE-メールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに出席し、構成員として授業に関与したかという点を重視する。 次の項目を参考に評価する。 自主的な学修活動が見られたか、また、自主的な学修態度が形成されたか。 問題提起または問題点の指摘については、十分な資料収集や思考を行っていたか、また、十分な理解ができていたか。 発表者として適切に発表を行えたか（自分の考えを他人に伝えることができ、他人の意見を理解することができたか）。 聞き手は討論に積極的に参加したか。 授業での成果を適切にレポートにまとめることができたか。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で討議、話題となった内容について関連する情報を収集し、収集した内容をアカデミックライティングの手法に従い文章としてまとめてください。事前・事後学修のために各回1時間の程度の時間が必要となります。
キーワード/Keywords	睡眠・覚醒、生命、健康、医療、医学と社会
教科書・教材・参考書/Materials	1. 厚生労働省「健康づくりのための睡眠ガイド2023」：2024年に公開された睡眠ガイドの最新版が閲覧できます。本ガイドは最新の研究成果を元に作成されました。「こども版」「成人版」および「高齢者版」が作成されています。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/suimin/index.html 2. 日本睡眠学会：睡眠に関する学術団体です。このサイトの「睡眠について」は最近全面改定されました。より専門的な情報を調べる際には有益なサイトです。 https://jssr.jp/ 3. 相談e-眠り：製薬会社のエーザイが提供している睡眠に関する情報サイトです。不眠症を中心に睡眠全般の情報が分かりやすく掲載されています。厚生労働省の健康作りのための睡眠ガイド2023に準拠したパンフレットも入手できます。 https://e-nemuri.eisai.jp/ 4. 過眠症の杜：製薬会社のアルフレッサファーマが提供している睡眠に関する情報サイトです。過眠症を中心に情報が分かりやすく掲載されています。 https://kaminsho.jp/ 5. 睡眠ダイアリー：長崎大学病院総合診療科睡眠・覚醒障害外来で使用している睡眠ダイアリーです。日々の睡眠を記録することにより、ご自身の睡眠を振り返り、問題を考えて対応を考えることが可能となります。 https://drive.google.com/file/d/10UWPvk3uaRbjlNnda_sLrpdal1tpj0fQ/view
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	このセミナーにおけるこのグループの到達目標は、「身近な睡眠・覚醒の諸問題について医療系学生の立場で考えて、対策を提言する」とこととします。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	近藤英明 / 長崎大学医学部医学科4年次系統講義「睡眠・覚醒障害」、同4年次症候診断学講義「起床困難」：医学科学生を対象として睡眠・覚醒障害の概要と鑑別診断について講義。 長浦由紀 / 現役の臨床心理士（公認心理師）が医療現場における不眠症の認知行動療法や、労働者や管理職へのヘルスセルフケアやコミュニケーションの啓発活動の実践経験に基づいて指導する。

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) テーマ設定、アカデミックライティング。「資料をみて文章を書いてみよう」
第2回	(対面) 収集情報の整理法、論文の読み方。「情報を整理しよう」
第3回	(対面) 資料収集ガイダンス。
第4回	(対面) 統計データの見方。「データの示し方としての統計を理解しよう」
第5回	オンデマンド授業。 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例について。
第6回	(対面) テーマの再検討。「リサーチクエスションを書いてみよう」
第7回	(対面) 第1回発表会。
第8回	(対面) 論文抄読会。「英語の論文を読んでみよう」
第9回	(対面) スライド作成法。「自分の考えを伝えるスライドを作ろう」
第10回	(対面) 第2回発表会。
第11回	(対面) 各自の発表原稿作成。「スライド内容をもとに発表原稿を書いてみよう」
第12回	(対面) 第3回発表会。
第13回	(対面) 社会提言を考える。「今回のテーマから何を社会に提言できるか考えてみよう」
第14回	(対面) 発表会予行。
第15回	(対面) 全体発表会。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003048	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	吉村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	吉村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shun-yoshimura▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	長崎希大学病院脳神経内科		
担当教員TEL/Tel	0958197265		
担当教員オフィスアワー/Office hours	10:00 ~ 15:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席および、講義中の発表や質問等の実績に応じて総合評価を行う。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義までの予習（事前準備）1時間および、授業内容のまとめに事後学習として1時間を必須とする。
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	Pubmed 他
受講要件（履修条件）/Prerequisites	3分の2以上の出席
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	特記なし
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎大学脳神経内科 吉村俊祐，山下 彩／脳神経内科領域による日常診療に携わってる
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面）オリエンテーション アクティブラーニングとは何か，学修ポートフォリオの位置づけ 各学部・コースのディプロマポリシーの周知，カリキュラムマップ・ツリーの説明 学部に沿ったキャリアデザインの検討
第2回	（対面） 企業研究，資格（ロールモデルに学ぶ） 文章の書き方（アカデミック・ライティング，クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング）
第3回	（対面）情報リテラシーとモラル（引用の仕方，不正行為（剽窃・盗用），情報リテラシー，教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方，オフィスアワーとは何か，メールの書き方を含む））
第4回	（対面）著作権 生成AI の概念と応用 社会におけるデータ・AI 等の活用事例
第5回	（対面）図書館資料収集ガイダンス
第6回	（対面）課題発見，リサーチエスチョン，問題関心（テーマ）の選択など
第7回	（対面）課題発見，リサーチエスチョン，問題関心（テーマ）の選択など
第8回	（対面）リサーチエッションに対するディベート
第9回	（対面）リサーチエッションに対するディベート
第10回	（対面）プレゼンテーションの方法
第11回	（対面）プレゼンテーションの方法
第12回	（対面）プレゼンテーションの方法
第13回	（対面）プレゼンテーションの実際
第14回	（対面）ディスカッション
第15回	（対面）全体発表

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003049	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇野 直輝 / Uno Naoki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	宇野 直輝 / Uno Naoki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	宇野 直輝 / Uno Naoki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nuno▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	医学ミュージアム3階 ウイルス学教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7154		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極性、建設的議論、協働作業、発表を評価する。総合評価が6割以上で合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	想定する課題と計画に基づいて、事前事後学修をして、積極的にグループワークに貢献する。
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	未定
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月8日	（対面）テーマ検討
4月15日	（対面）テーマ検討
4月22日	（対面）資料収集ガイダンス
5月13日	（オンデマンド）著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例
5月20日	（対面）テーマ決定
5月27日	（対面）資料収集
6月3日	（対面）資料収集
6月10日	（対面）資料収集
6月17日	（対面）資料収集
6月24日	（対面）資料収集
7月1日	（対面）発表準備
7月8日	（対面）発表準備
7月15日	（対面）発表練習
7月22日	（対面）発表練習
7月28日	（対面）全体発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003050	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 鮎子		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山下 鮎子		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山下 鮎子		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayamashita▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください） ご質問、欠席、遅刻のご連絡などは上記メールアドレスにご連絡下さい。		
担当教員研究室/Office	腎臓内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7282(腎臓内科医局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日9:00-17:00 質問などは原則メールで受け付けますが、直接面会希望の場合は事前にメールでアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題（5点×12回＝60点）＋授業への取り組み（40点）＝合計100点のうち60点以上を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 次回のテーマについて自分なりに調べておくこと(1h) (復習) 学習した内容を復習すること(1h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	授業で資料を配布します。それをもとに図書館の本やインターネットで調べて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	パソコンなど、パワーポイントを作ることができるデバイスを持参してください(初日から)
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	山下鮎子、北村峰昭、鳥越健太、辻 清和、大塚絵美子、明穂尚基：いずれも現役の腎臓内科医師であり、臨床の実務経験や医学科生への講義や臨床実習における指導経験に基づき、腎疾患に必須の基本的な知識、情報の収集の仕方、プレゼンテーション力などを分かりやすく指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 2025/4/7 16:30-18:00	オリエンテーション（対面）
第2回 2025/4/14 16:30～18:00	テーマ決め（対面）
第3回 2025/4/21	資料収集ガイダンス（対面）
第4回 2025/4/28	情報収集・グループワーク（対面）
第5回 2025/5/12	オンデマンド授業（著作権・生成AIの概念と応用・社会におけるデータ、AI等の活用事例）
第6回 2025/5/19	情報収集・グループワーク（対面）
第7回 2025/5/26	（情報収集・グループワーク（対面）
第8回 2025/6/2	情報収集・グループワーク（対面）
第9回 2025/6/9	情報収集・グループワーク（対面）
第10回 2025/6/16	情報収集・グループワーク（対面）
第11回 2025/6/23	スライド作り（対面）
第12回 2025/6/30	スライド作り（対面）
第13回 2025/7/7	まとめ、発表準備（対面）
第14回 2025/7/14	まとめ、発表準備（対面）
第15回 2025/7/28	合同発表会（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003051	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松林 昌平 / Matsubayashi Shiyoei, 田上 敦士 / Tagami Atsushi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	松林 昌平 / Matsubayashi Shiyoei		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	松林 昌平 / Matsubayashi Shiyoei, 田上 敦士 / Tagami Atsushi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	スライド作成の過程と発表内容
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	その都度、課題を出しますので、それに対応してください。（事前0.5h、事後0.5h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	特になし
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月8日16:45	（対面）自己紹介（担当：松林昌平、田上敦士）
第2回 4月15日16:45	（対面）テーマを決める（担当：松林昌平、田上敦士）
第3回 4月22日16:30	（対面）資料収集ガイダンス
第4回 5月13日16:30	（オンデマンド）（担当：松林昌平、田上敦士） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例
第5回 5月20日16:45	（対面）資料を集める（担当：松林昌平、田上敦士）
第6回 5月27日16:45	（対面）討論（担当：松林昌平、田上敦士）
第7回 6月3日16:45	（対面）資料集める（担当：松林昌平、田上敦士）
第8回 6月10日16:45	（対面）資料を集める（担当：松林昌平、田上敦士）
第9回 6月17日16:45	（対面）討論（担当：松林昌平、田上敦士）
第10回 6月24日16:45	（対面）討論（担当：松林昌平、田上敦士）
第11回 7月1日16:45	（対面）スライド作成（担当：松林昌平、田上敦士）
第12回 7月8日16:45	（対面）スライド作成（担当：松林昌平、田上敦士）
第13回 7月15日16:45	（対面）発表スライド作成（担当：松林昌平、田上敦士）
第14回 7月22日16:45	（対面）プレゼン練習（担当：松林昌平、田上敦士）
第15回 7月28日16:30	（対面）発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003052	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 尚子		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	服部 尚子		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	服部 尚子		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-hattori ▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	医学科基礎棟 6階 生化学教室		
担当教員TEL/Tel	0958197038		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み、積極性、プレゼンテーションなどから総合的に評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回の授業で話し合う内容のアイデアや情報の収集、プレゼンスライド作成など。(2h) 復習：今回の学習内容をまとめ、次回までの課題を確認しておくこと。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	教材は問わない。主にインターネットや図書館資料を活用するが、出典の確かなものとする。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で行います。変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	服部尚子/皮膚科学、生化学/ 現役医師による実務経験をもとに指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介 オリエンテーション（対面）
第2回	資料収集ガイダンス（対面）
第3回	テーマの検討、アイデア共有（対面）
第4回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例について（オンデマンド授業）
第5回	ディスカッション テーマの確定（対面）
第6回	ディスカッション 調査内容、調査方法の検討（対面）
第7回	ディスカッション 調査結果の報告と共有、追加調査の検討（対面）
第8回	ディスカッション 調査結果の吟味（対面）
第9回	プレゼンテーションアウトラインの作成（対面）
第10回	スライド作成（対面）
第11回	スライド作成（対面）
第12回	スライド作成（対面）
第13回	プレゼンテーション予行（対面）
第14回	プレゼンテーション予行 ふりかえり（対面）
第15回	全体発表会（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003053	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青枝 大貴		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	青枝 大貴		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	青枝 大貴		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoshi ▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	医学部免疫学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7072		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金、平日12:00～13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、及び、主体的に学習に取り組む態度などを総合的に評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)普段から興味をもった様々な情報に対してアンテナを立てておく。(0.5h) (復習)自らの興味や関心をもった事柄に対して、自分なりに考えてみる。(0.5h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	「長大生のためのラーニングティップス」
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/18	（対面）オリエンテーション、自己紹介
第2回 4/25	（対面）資料収集ガイダンス(付属図書館)
第3回 5/9	（対面）テーマ設定、ディスカッション
第4回 5/16	（対面）オンデマンド授業（著作権・生成AIの概念と応用・社会におけるデータ、AI等の活用事例）
第5回 5/23	（対面）テーマ設定、ディスカッション
第6回 5/30	（対面）テーマ設定、ディスカッション、発表テーマ決定
第7回 6/6	（対面）情報収集、情報共有、スライド作成
第8回 6/13	（対面）情報収集、情報共有、スライド作成
第9回 6/20	（対面）情報収集、情報共有、スライド作成
第10回 6/27	（対面）情報収集、情報共有、スライド作成
第11回 7/4	（対面）プレゼンテーション準備
第12回 7/11	（対面）プレゼンテーション準備
第13回 7/18	（対面）プレゼンテーション準備
第14回 7/25	（対面）発表会の予行
第15回 7/28	（対面）発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003054	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuji-i▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	保健学科 研究棟 4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7941		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーへの取り組み方、授業への参加度、発表（発表資料・発表原稿等）、個人レポート等を基に総合的に評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：講義時に予告する次回のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修：講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	学習するテーマが決まったあとに、適宜、担当教員が指示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	医師（呼吸器内科）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/7）	オリエンテーション、授業ガイダンス（対面：PBL 2） また、著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例についても学ぶ。
第2回（4/14）	資料収集ガイダンス（対面：講義室2A） 図書館職員、教務委員会の教員が授業を行います。
第3回（4/21）	発表テーマの検討(1)：グループディスカッション（対面：PBL 2）
第4回（4/28）	発表テーマの検討(2)：グループディスカッション（対面：PBL 2）
第5回（5/12）	発表テーマに関する情報収集(1)：グループワーク（対面：PBL 2）
第6回（5/19）	発表テーマに関する情報収集(2)：グループワーク（対面：PBL 2）
第7回（5/26）	発表テーマに関する情報収集(3)：グループワーク（対面：PBL 2）
第8回（6/2）	発表テーマに関する情報収集(4)：グループワーク（対面：PBL 2）
第9回（6/9）	発表テーマに関する情報収集(5)：グループワーク（対面：PBL 2）
第10回（6/16）	発表スライドの作成(1)：グループワーク（対面：PBL 2）
第11回（6/23）	発表スライドの作成(2)：グループワーク（対面：PBL 2）
第12回（6/30）	発表の予行演習(1)：グループディスカッション（対面：PBL 2）
第13回（7/7）	発表の予行演習(2)：グループディスカッション（対面：PBL 2）
第14回（7/14）	初年次セミナー発表会（対面：講義室2A）
第15回（7/28）	レポート作成（対面：PBL 2）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003055	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大西 真由美 / Ohnishi Mayumi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	大西 真由美 / Ohnishi Mayumi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	大西 真由美 / Ohnishi Mayumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohnishi▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7943		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、科目責任者が行う。成績評価の配点は、グループワーク/グループディスカッション50%、プレゼンテーション20%、個人レポート30%とする。100点満点で60点以上を「合格」とする。 【成績の発表方法】 学務情報システム（NU-Web）より各自で確認すること。 【疑義申立てについて】 成績に疑義が生じた場合は、「学生の手引き」に記載している正規の手続きによって申立てをすることができる。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】グループディスカッションや発表に先立って文献等の関連情報を調べ、整理しておくこと（2h） 【事後】グループディスカッションで新しく得た知見や教員からの指摘を受けた事項などを振り返って、学びを整理したり、追加情報を確認する等、主体的に学びを深めること（2h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員の指示による
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位取得を希望する者は、自己責任にて履修登録を行うこと
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、特に指定がない場合は、PBL3で行う。 【資料等の取扱い】 １．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 ２．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 （人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など） 【授業の実施方法】対面授業を原則とするが、必要に応じて、オンライン授業も行う場合もある。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	大西真由美／行政保健師、グローバルヘルス／国際保健（保健人材育成アドバイザー、リプロダクティブヘルス／母子保健、HIV/AIDS対策等）に係る国際機関、NPO等での実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月7日）	授業ガイダンス（対面） 以下を含む「初年次セミナー」の概要・位置づけ、到達目標、授業方法、進め方についてガイダンスを行う ・著作権 ・生成AIの概念と応用 ・社会におけるデータ・AI等の活用事例
第2回（4月14日）	資料収集ガイダンス（対面） 講義室2A 必ずパソコンを持参すること
第3回（4月21日）	テーマの検討・決定：グループディスカッション（対面）
第4回（4月28日）	テーマに関する情報収集1：グループワーク（対面）
第5回（5月12日）	テーマに関する情報収集2：グループワーク（対面）
第6回（5月19日）	テーマに関する情報収集3：グループワーク（対面）
第7回（5月26日）	テーマに関する情報収集4：グループワーク（対面）
第8回（6月2日）	テーマに関する情報収集5：グループワーク（対面）

第9回（6月9日）	テーマに関する情報収集5：グループワーク（対面）
第10回（6月16日）	発表会スライドの作成1（対面）
第11回（6月23日）	発表会スライドの作成2（対面）
第12回（6月30日）	発表会の予行練習1（対面）
第13回（7月7日）	発表会の予行練習2（対面）
第14回（7月14日）	発表会（対面） 講義室2A
第15回（7月28日）	個人レポートの作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003056	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	澤井 照光 / Sawai Terumitu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	澤井 照光 / Sawai Terumitu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	澤井 照光 / Sawai Terumitu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sawai▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7990		
担当教員オフィスアワー/Office hours	予めメールで連絡してください（sawai▲nagasaki-u.ac.jp）。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	「初年次セミナーに出席し、構成員として授業に関与したか」という点を重視し、次の項目を参考に科目責任者が評価する。 自主的な学修活動が見られたか、自主的な学修態度が形成されたか。 問題提起・問題点の指摘について、十分な資料収集や思考を行っていたか、十分な理解ができていたか。 発表者として適切に発表を行えたか。 聞き手は討論に積極的に参加したか。 授業での成果を適切にレポートにまとめることができたか。 成績評価にあたっては、単位を認定する場合は「合」とし、認定しない場合は「否」とする。出席・学修状況が特に悪く、単位認定の困難な学生に対しては、単位を与えないものとする。 成績は、学務情報システム「NU-Web」によって各自で確認できる。成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：前回のセミナーにおける課題について、自主的にインターネット、文献などで情報収集すること。（2h） 事後学修：当日のセミナーで問題となった課題について、自身の言葉で適切にまとめて記録すること。（2h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	2025年度初年次セミナー実施要領 長大生のためのラーニングティップス（https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/student/ttips2023/index.html） 基礎から学ぶ著作権（https://copyright-edu.axes.jp/video/） 社会のデータ・AI 等活用事例動画（https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/jyoho/oshirase/240509_1.html）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/8）	（対面）授業ガイダンス（初年次セミナーの意義、レポートの書き方、著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例）
第2回（4/15）	（対面）資料収集ガイダンス
第3回（4/22）	（対面）セミナー
第4回（5/13）	（対面）セミナー
第5回（5/20）	（対面）セミナー
第6回（5/27）	（対面）セミナー
第7回（6/3）	（対面）セミナー
第8回（6/10）	（対面）セミナー
第9回（6/17）	（対面）セミナー
第10回（6/24）	（対面）セミナー
第11回（7/1）	（対面）セミナー
第12回（7/8）	（対面）セミナー
第13回（7/15）	（対面）セミナー

第14回（7/22）	（対面）発表会
第15回（7/29）	（対面）レポート作成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003057	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	あらかじめメールにて連絡ください。 hirano▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<成績評価> 初年次セミナーの成績評価は、「合」、「否」の２段階で評価をおこなう。 ・成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。 ・詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：講義時に予告される次回のテーマについて、自主的に新聞・TV・インターネット等の報道を注意深く確認しておいてください。（２h） 復習：講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理してください（２h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	各担当教員の指示による。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位取得を希望する者は、自己責任にて履修登録を行うこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	１．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 ２．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など 本セミナーは、対面授業を原則とするが、必要に応じて、オンライン授業も行う。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業ガイダンス（対面）初年次セミナーの意義、レポートの書き方、著作権に関する理解
第2回	資料収集ガイダンス（対面）
第3回	（対面）情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、教員へのコンタクトの方法とマナー（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーについての理解、メールの書き方）
第4回	セミナー（演習）（１）（対面）生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例
第5回	セミナー（演習）（２）（対面）グループワーク
第6回	セミナー（演習）（３）（対面）グループワーク
第7回	セミナー（演習）（４）（対面）グループワーク
第8回	セミナー（演習）（５）（対面）グループワーク
第9回	セミナー（演習）（６）（対面）グループワーク

第10回	セミナー（演習）（7）（対面）グループワーク
第11回	セミナー（演習）（8）（対面）グループワーク
第12回	セミナー（演習）（9）（対面）グループワーク
第13回	セミナー（演習）（10）（対面）グループワーク
第14回	セミナー（発表会）（対面）
第15回	レポート作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003058	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	本田 純久 / Honda Sumihisa		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	本田 純久 / Honda Sumihisa		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	本田 純久 / Honda Sumihisa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honda▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7945		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は授業担当教員である本田純久が行う。成績評価の配点は、事前課題20%、グループワーク・グループディスカッション40%、プレゼンテーション20%、個人レポート20%とする。 初年次セミナーの成績評価は、「合」、「否」の2段階評価とする。 成績の発表方法 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報システム「NU-Web」より各自で確認できる。詳細な内容を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用して個別に対応する。 <疑義申し立てについて> 成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：講義時に予告する次のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修：講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員の指示による。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、授業ガイダンス：初年次セミナーの意義、レポートの書き方、著作権・生成AIの概念と応用・社会におけるデータとAIの活用について（対面）
第2回	資料収集ガイダンス（対面）
第3回	発表テーマの検討(1)：グループディスカッション（対面）
第4回	発表テーマの検討(2)：グループディスカッション（対面）
第5回	発表テーマに関する情報収集(1)：グループワーク（対面）
第6回	発表テーマに関する情報収集(2)：グループワーク（対面）
第7回	発表テーマに関する情報収集(3)：グループワーク（対面）
第8回	発表テーマに関する情報収集(4)：グループワーク（対面）
第9回	発表テーマに関する情報収集(5)：グループワーク（対面）
第10回	発表スライドの作成(1)：グループワーク（対面）
第11回	発表スライドの作成(2)：グループワーク（対面）
第12回	発表の予行演習(1)：グループディスカッション（対面）
第13回	発表の予行演習(2)：グループディスカッション（対面）
第14回	初年次セミナー発表会（対面）
第15回	個人レポートの作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003059	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森園 加奈		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	森園 加奈		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	森園 加奈		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	morizono▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	保健学科5階 看護学専攻教員研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7982		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。ただし、事前にメールで問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は授業担当教員である森園加奈が行う。成績評価の配点は、事前課題への取り組み20%、グループワーク・グループディスカッション40%、プレゼンテーション20%、個人レポート20%とする。 初年次セミナーの成績評価は「合」、「否」の2段階評価とする。 <成績の発表方法> 成績発表は準備が整い次第、掲示板等に連絡し、学務情報システム「NU-Webシステム」にて各自で確認できる。 <疑義申し立てについて> 成績に疑義がある場合は、所定の手続きを行い、申し立てすることができる。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：講義時に予告する次回のテーマについて、自主的に文献やインターネットなどで情報収集すること。グループディスカッションやグループワークに積極的に参加できるように準備を行うこと。（2h） 事後学習：講義後は課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。（2h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員の指示による。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	森園加奈 / 看護師として、急性期病院での臨床経験や訪問入浴介護の実務経験 / 実務経験に基づき、多職種連携による課題解決法等について指導する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/8）	・授業ガイダンス（対面）
第2回（4/15）	・資料収集ガイダンス（対面）
第3回（4/22）	・テーマの検討(1)：グループディスカッション（対面） ・著作権
第4回（5/13）	・テーマの検討(2)：グループディスカッション（対面） ・生成AIの概念と応用
第5回（5/20）	・テーマに関する情報収集(1)：グループワーク（対面） ・社会におけるデータ・AI等の活用事例
第6回（5/27）	・テーマに関する情報収集(2)：グループワーク（対面）
第7回（6/3）	・テーマに関する情報収集(3)：グループワーク（対面）
第8回（6/10）	・テーマに関する情報収集(4)：グループワーク（対面）
第9回（6/17）	・テーマに関する情報収集(5)：グループワーク（対面）
第10回（6/24）	・テーマに関する情報収集(6)：グループワーク（対面）
第11回（7/1）	・発表資料の作成(1)：グループワーク（対面）
第12回（7/8）	・発表資料の作成(2)：グループワーク（対面）
第13回（7/15）	・発表の予行演習：グループディスカッション（対面）
第14回（7/22）	・発表会（対面）
第15回（7/29）	・レポート作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003060	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳田 頼英 / Yorihide Yanagita		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	柳田 頼英 / Yorihide Yanagita		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	柳田 頼英 / Yorihide Yanagita		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-yanagita▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	保健学科3階第1セミナー室		
担当教員TEL/Tel	(直通)095-819-7967 (内線)7967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日8:50~17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価方法 ・ 内容理解確認小テスト（5点×7回＝35点） ・ 予習復習課題（5点×7回＝35点） ・ プレゼンテーション課題（10点） ・ レポート課題（15点） ・ 授業への取り組み（5点） ＝ 合計100点を総合的に判断する． 評価担当者 授業担当教員（科目責任者）が担当． 成績評価 成績評価は「合」「否」の2段階評価とする． 成績の発表方法 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報システム「NU-Web」より各自で確認できる．詳細な内容を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用して個別に対応する． 疑義申し立て 成績に疑義が生じた場合は学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 予めレジュメを配布し、テキストの中で読んでくるべき個所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。（2h） 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にしよう努めること。（2h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	新聞、その他
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義は対面形式で実施します。初回に講義計画を説明しますが、状況によっては変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月7日 16:30-18:00	授業ガイダンス（対面）
第2回 4月14日 16:30-18:00	資料収集ガイダンス（対面）
第3回 4月21日 16:30-18:00	自立的な学びの仕組み（対面）
第4回 4月28日 16:30-18:00	文章の書き方（対面）
第5回 5月12日 16:30-18:00	文章の読み方（対面）
第6回 5月19日 16:30-18:00	情報リテラシーとモラル（対面）
第7回 5月26日 16:30-18:00	著作権（対面）
第8回 6月2日 16:30-18:00	生成AIの概念と応用（対面）
第9回 6月9日 16:30-18:00	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面）
第10回 6月16日 16:30-18:00	課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など（対面）
第11回 6月23日 16:30-18:00	プレゼンテーションの方法（対面）
第12回 6月30日 16:30-18:00	ディスカッションの方法（対面）
第13回 7月7日 16:30-18:00	学部に沿ったキャリアデザインの検討（対面）

第14回	7月14日	16:30-18:00	発表会（対面）
第15回	7月28日	16:30-18:00	レポート作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003061	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 あゆみ		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高橋 あゆみ		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高橋 あゆみ		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.takahashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	保健学科3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの連絡は随時受け付けるが、教員研究室に訪室する際は、事前連絡をお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:学習テーマ及び課題に係る情報収集等を行う(1h) 事後学習:セミナーで課題となったことについて調査・考察等を行う(1h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて配布します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義は対面形式で実施します。初回に講義計画を説明しますが、状況によっては変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/8	(対面) 授業ガイダンス
第2回 4/15	(対面) 資料収集ガイダンス
第3回 4/22	(対面) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方,不正行為(剽窃・盗用),情報リテラシー,教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方,オフィスアワーとは何か,メールの書き方を含む))
第4回 5/13	(対面) グループワークの方法
第5回 5/20	(対面) 興味あるテーマを考える
第6回 5/27	(オンデマンド)「基礎から学ぶ著作権」「生成AIの概念と応用」「社会におけるデータ・AI等の活用事例」について
第7回 6/3	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第8回 6/10	(対面) プレゼンテーションの方法
第9回 6/17	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第10回 6/24	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第11回 7/1	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第12回 7/8	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第13回 7/15	(対面) 個人ワークならびにグループワーク
第14回 7/22	(対面) 発表会
第15回 7/29	(対面) レポート作成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003062	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akiko0923▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7996		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の時間、またはメールで相談の上調整を行う		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の２段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前の調べ学習(予習)２時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)２時間 随時指示を行う
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	随時配布
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面での実施、オンラインでの実施に関しては進捗状況やその日の実施内容によって、都度相談を行い決定する。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	徳永瑛子/作業療法士としての臨床活動、作業療法士教員としての教育活動/作業療法の視点から医療福祉のテーマについて紹介し、その内容を深めるための手助けを行う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面)オリエンテーション、自己紹介等
第2回	(対面)動画視聴 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例
第3回	(対面)テーマ決めのための調べ学習、発表
第4回	(対面)テーマ学習のための調べ学習、発表
第5回	(対面)役割決め、各担当に分かれて調べ学習
第6回	(対面)各担当に分かれて調べ学習
第7回	(対面)発表内容に関してディスカッション
第8回	(対面)発表内容に関してディスカッション
第9回	(対面)スライド作成、ディスカッション
第10回	(対面)スライド作成、ディスカッション
第11回	(対面)スライド作成、ディスカッション
第12回	(対面)発表予行練習
第13回	(対面)発表予行練習
第14回	(対面)発表会
第15回	(対面)レポート作成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003063	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸田 道雄		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	丸田 道雄		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	丸田 道雄		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション（初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など）、プレゼンテーション（わかりやすい資料、話の構成、説得力など）、レポート（構成、文章表現など）により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の２段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：演習テーマや課題の内容に係る情報収集を行ってください。（0.5h） 事後学習：セミナーで討議した内容や課題についてまとめてください。（0.5h） 随時指示をします。
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて配布します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	丸田道雄／医療機関や地域での作業療法士としての臨床活動・作業療法教員としての教育活動／実務経験に基づき、作業療法の視点から医療福祉のテーマを紹介し、多職種連携による課題解決のための基本的な取り組み、課題の探求方法を養う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業ガイダンス（対面）著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例について
第2回	情報収集ガイダンス（対面）
第3回	グループワークの方法（対面）
第4回	発表テーマの検討（対面）
第5回	発表テーマの検討（対面）
第6回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第7回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第8回	プレゼンテーションの方法（対面）
第9回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第10回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第11回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第12回	個人ワーク・グループワーク（対面）
第13回	プレゼンテーション練習・修正（対面）
第14回	プレゼンテーション（対面）
第15回	課題レポートの作成（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003064	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内藤 真理子 / Naito Mariko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	内藤 真理子 / Naito Mariko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	内藤 真理子 / Naito Mariko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	内藤真理子 / mnaito▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	歯学部5階口腔病原微生物学分野 セミナー室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7649（内7649）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	2/3以上の出席を必須とします。評価は全体プレゼンテーション課題（40点）+グループプレゼンテーション課題（40点）+授業への取り組み（30点）=合計100点のうち60点以上を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 予め課題を示すので、課題に関する資料の収集とそれらに目を通したうえで講義にのぞむこと。またプレゼンテーションの為に準備を行うこと（2h） 復習 講義中に指摘された点について、理解を確実にするよう努めること。また指摘をもとにプレゼンテーションの修正を行うこと（2h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	選択したテーマに応じて、資料の指示を行います。また以下の学習コンテンツ（動画）を使用します 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/7)	（対面）初年次セミナーの意義、レポートの書き方 著作権、生成AI、データとAIの活用について
第2回 (4/14)	（対面）図書館が開催する資料収取ガイダンス（3グループ合同で歯学部講義室で実施）小テストを実施します
第3回 (4/21)	（対面）自己紹介、キーワードを検討する（次回までに各自 5つメールで提出する）
第4回 (4/28)	（対面）グループ分け、キーワードを基にテーマの検討
第5回 (5/12)	（対面）テーマの決定の発表（テーマと目的、決定の経緯の説明） テーマ課題に対するプレゼンの作成の進め方についての討論を行う
第6回 (5/19)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第7回 (5/26)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第8回 (6/2)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第9回 (6/9)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第10回 (6/16)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第11回 (6/23)	（対面）収集した資料についてグループで討議する
第12回 (6/30)	（対面）グループごとのプレゼンテーションとディスカッション
第13回 (7/7)	（対面）プレゼンテーションのブラッシュアップ 合同発表会の代表決定
第14回 (7/14)	（対面）歯学部講義室にて2班合同の発表会
第15回 (7/28)	（対面）発表会の振り返り 改善点等の確認

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003065	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsuta▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	歯学部・歯科薬理学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席状況と個人の自己紹介、テーマ発表、グループごとのプレゼンテーションの内容などの総合評価とします
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業ごとに予習・復習の指示します。（各最低0.5h）
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	特にありません。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	出席は2/3以上必要です
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面）初年時セミナーの意義とこれからの授業内容の説明
第2回	（対面）レポートの書き方と著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ、AI等の活用事例について
第3回	（対面）図書館資料収集ガイダンス
第4回	（対面）プレゼンテーションの方法
第5回	（対面）自己紹介とキーワードの選択
第6回	（対面）グループ分け
第7回	（対面）テーマと目的について
第8回	（対面）グループ討論1
第9回	（対面）グループ討論2
第10回	（対面）グループ討論3
第11回	（対面）グループ討論4
第12回	（対面）プレゼンテーション1
第13回	（対面）プレゼンテーション2
第14回	（対面）指摘された内容を修正する討論
第15回	（対面）全体でのプレゼンテーションとまとめ

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003066	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小堤 涼平		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	小堤 涼平		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	小堤 涼平		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kozutsumi ▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究棟8階 口腔インプラント学分野（オープンラボ17）		
担当教員TEL/Tel	095-819-7688		
担当教員オフィスアワー/Office hours	アポイントの場合は事前にメールすること。 メールによる質問は随時受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	グループワーク等の前提となる事前学習では、授業で紹介するWebサイトや参考文献からの情報収集を行います。(2h) 事後学習では、授業で話し合った内容をもとに、追加の情報収集を行います。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア、平和、福祉、ボランティア、長崎、プラネタリーヘルス
教科書・教材・参考書/Materials	基本的に学生が決定したテーマの書籍。必要だと思われる教材がある場合はこちらから指示します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	小堤涼平/長崎大学病院での勤務経験に基づき、医療と教育の両面から解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/7(月)	初年次セミナーの趣旨や日程、進み方について 担当教官の自己紹介「対面」
第2回 4/14(月)	図書館資料収集ガイダンス「対面」
第3回 4/21(月)	各学生の自己紹介(パワーポイントを用いて) 質疑応答「対面」
第4回 4/28(月)	「ラーニングティップス」および「著作権の動画教材」動画供覧「対面」
第5回 5/12(月)	「生成AIの概念と応用」動画供覧「対面」 「社会におけるデータ・AIなどの活用事例」動画供覧「対面」
第6回 5/19(月)	グループ分け(3つ) テーマの決定 各グループでの打ち合わせ「対面」
第7回 5/26(月)	テーマ調査の進行状況や計画案(なぜそのテーマにしたか、どういった資料を用いるかも含めて)について報告「対面」 発表資料作成、レポート作成開始「対面」
第8回 6/2(月)	テーマ調査の進行状況報告 発表資料作成、レポート作成「対面」
第9回 6/9(月)	テーマ調査の進行状況報告 発表資料作成、レポート作成「対面」

第10回	6/16(月)	各グループの中間発表、質疑応答、討論「対面」
第11回	6/23(月)	テーマの再検討および決定 合同発表会の準備（グループ発表の形態によっては変更）「対面」
第12回	6/30(月)	合同発表会の準備 最終レポート作成「対面」
第13回	7/7(火)	合同発表会の予演会，討論「対面」
第14回	7/14(月)	合同発表会（月曜グループ3班合同）「対面」
第15回	7/28(月)	最終レポート作成「対面」

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003067	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡崎 ひとみ / OKAZAKI Hitomi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	岡崎 ひとみ / OKAZAKI Hitomi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	岡崎 ひとみ / OKAZAKI Hitomi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hokazaki ▲ nagasaki-u.ac.jp (▲を@に置き換えて下さい)		
担当教員研究室/Office	病院本館 8 階 歯科補綴学分野医局		
担当教員TEL/Tel	095-819-7693(内線7693)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	予めメールで担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の２段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：講義時に予告する次回のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修：講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員の指示による。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡崎ひとみ/大学病院及び関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、課題の探究方法を提供する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8)	オリエンテーション、授業ガイダンス(対面)
第2回 (4/15)	資料収集ガイダンス(対面)
第3回 (4/22)	情報リテラシーとモラル、著作権、生成AI の概念と応用、社会におけるデータ・AI 等の活用事例について(対面)
第4回 (5/13)	発表テーマの検討(1): グループディスカッション(対面)
第5回 (5/20)	発表テーマの検討(2): グループディスカッション(対面)
第6回 (5/27)	発表テーマに関する情報収集(1): グループワーク(対面)
第7回 (6/3)	発表テーマに関する情報収集(2): グループワーク(対面)
第8回 (6/10)	発表テーマに関する情報収集(3): グループワーク(対面)
第9回 (6/17)	発表テーマに関する情報収集(4): グループワーク(対面)
第10回 (6/24)	発表スライドの作成(1): グループワーク(対面)
第11回 (7/1)	発表スライドの作成(2): グループワーク(対面)
第12回 (7/8)	発表の予行演習(1): グループディスカッション(対面)
第13回 (7/15)	発表の予行演習(2): グループディスカッション(対面)
第14回 (7/22)	初年次セミナー発表会(対面)
第15回 (7/29)	個人レポートの作成(オンライン)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003068	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	介田 圭 / Kaida Kei		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	介田 圭 / Kaida Kei		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	介田 圭 / Kaida Kei		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kaida▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	保存修復学部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-7677		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火～金：17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：予めテキストの中の読んでくるべき個所を示すので、確認して、わからないことがあれば、調べて講義に備える。(0.5h) 事後：資料を再読して、理解を確実にするように努めること。(0.5h)
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	各回の授業にて教員の指示による。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	復習を必要に応じて各自行う。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	介田 圭／大学にて実務経験／文部科学省大学間連携共同教育推進事業にて多職種協働による医療を担う専門人材育成に取り組んできたことに基づき、多学部生で多職種協働等について解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8)	（対面）セミナー趣旨説明、日程説明、自己紹介、レポートの書き方、著作権、生成AI、データとAIの活用について
第2回 (4/15)	（対面）図書館ガイダンス
第3回 (4/22)	（対面）班決め、テーマ議論、情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為）
第4回 (5/13)	（対面）仮テーマ決定、生成AIの概念と応用・社会におけるデータ、AI等の活用事例について
第5回 (5/20)	（対面）テーマ詳細決定
第6回 (5/27)	（対面）情報収集（１）
第7回 (6/3)	（対面）情報収集（２）
第8回 (6/10)	（対面）プレゼン作成
第9回 (6/17)	（対面）中間報告、中間発表
第10回 (6/24)	（対面）発表の見直し、変更や追加について議論
第11回 (7/1)	（対面）情報収集（３）
第12回 (7/8)	（対面）発表準備
第13回 (7/15)	（対面）発表練習、リハーサル
第14回 (7/22)	（対面）合同発表会
第15回 (7/29)	（対面）発表について反省会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003069	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（医・保・歯合同） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	医学科・保健学科・歯学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ozaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	病院外来棟8階、長崎大学大学院医歯薬総合研究科歯周歯内治療学分野教室医局		
担当教員TEL/Tel	095-819-7683		
担当教員オフィスアワー/Office hours	午前8:15~午後6:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席率（共同作業だから）30%、態度（積極的に参加しているか・人任せにしていないか）30%、レポートの出来具合30%を基本とし、発表時にプレゼンターを務めたり質疑応答を積極的に行った場合には加算する10%。合計100点のうち、60点以上を合格点とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎週の予習・復習課題として進捗状況のコメントを求めます。予習7.5h(15コマX0.5h)、復習7.5h(15コマX0.5h)。
キーワード/Keywords	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア
教科書・教材・参考書/Materials	長大生のラーニングチップス https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式で行います。状況によってはオンラインに変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	尾崎 幸生/現役歯科医師（大学勤務）が、歯科臨床における実務経験と研究活動をもとにして、科学的な研究の仕方、プレゼンテーションの仕方及び論文を元にしたレポートの書き方を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/7)16:20-17:50	導入（対面）自己紹介、セミナーの目的と目標の確認、テーマを一人2つずつ考えてくこと、「課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など」について、情報リテラシーとモラルについて
第2回(4/14)16:20-17:50	図書館の提供する資料収集ガイダンス（対面）
第3回(4/21)16:20-17:50	テーマの決定（対面）文章の書き方
第4回（4/28）16:20-17:50	研究の背景・目的・方法の作成（対面）ディスカッションの方法について
第5回(5/12)16:20-17:50	研究計画の立案（対面）文章の読み方
第6回(5/19)16:20-17:50	研究の実施・結果の整理・プレゼン資料の作成（対面）プレゼンテーションのしかたについて
第7回(5/26)16:20-17:50	研究の実施・結果の整理・プレゼン資料の作成（対面）著作権についての動画を見る
第8回(6/2)16:20-17:50	研究の実施・結果の整理・プレゼン資料の作成（対面）生成AIの概念と応用についての動画を見る
第9回(6/9)16:20-17:50	研究の実施・結果の整理・プレゼン資料の作成（対面）社会におけるデータ・AI等の活用事例についての動画を見る
第10回(6/16)16:20-17:50	研究の実施・結果の整理・プレゼン資料の作成（対面）
第11回(6/23)16:20-17:50	考察・結論の作成（対面）
第12回(6/30)16:20-17:50	プレゼンの原稿の作成と修正（対面）
第13回(7/7)16:20-17:50	プレゼンのリハーサルと修正（対面）
第14回(7/14)16:20-17:50	プレゼンテーション（対面）各グループ10分、質疑応答5分 場所未定
第15回(7/15)16:20-17:50	レポート提出（対面）